

## 兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2023年

氏名	嘉多山 宗	担当科目	発展ゼミⅡ
<b>学 位</b>			
1988年3月	法学士		
<b>主 な 学 歴</b>			
年 月	事 項		
1988年3月	創価大学法学部卒業		
1992年4月	司法研修所入所		
1994年3月	司法研修所修了		
2019年3月	一橋大学大学院法学研究科博士後期課程 単位取得退学		
<b>主 な 職 歴・経 歴</b>			
年 月	事 項		
1994年4月	弁護士登録		
2002年4月	創価大学法学部非常勤講師（～2004年3月）		
2004年4月	創価大学法務研究科助教授（～2011年3月）		
2011年4月	創価大学法務研究科教授（～2012年3月）		
2012年4月	創価大学比較文化研究所教授		
2013年4月	東京造形大学非常勤講師（～2014年3月）		
2018年4月	創価大学法務研究科教授（～現在）		
<b>最近5年間の主な業績等</b>			
年 月	事 項		
2020年3月	【著書】 『「無罪」を見抜く：裁判官・木谷明の生き方（岩波現代文庫）』木谷明（著）、山田隆司、嘉多山宗（聞き手・編）		
2020年3月	伊藤滋夫『憲法と要件事実』（分担執筆：74～80頁、146～151頁）		
2020年12月	『お気の毒な弁護士——最高裁判所でも貰いたマチ弁のスキルとマインド』山浦善樹（著）、山田隆司、嘉多山宗（聞き手・編）		
2021年5月	「砂川事件最高裁判決の形成過程と今日的意義—入江俊郎の『統治行為論』を分析軸として」笹田栄司ほか著『統治構造において司法権が果たすべき役割 第1部』（判例時報2475号臨時増刊）		
2021年2月	【学術論文】 「大橋正春・鬼丸かおる元最高裁判事に聞く——憲法訴訟の実務と学説」（聞き手・渡辺康行、嘉多山宗、巻美矢紀）法律時報93巻2号56頁		
2021年7月	「憲法裁判における裁判所と当事者の役割分担（憲法訴訟の醸成 実務と学説が導く可能性(4)）」法律時報93巻8号120頁		
2018年10月	【学会発表】 第26回戦時法研究会「入江俊郎と占領法制—最高裁判例への影響を中心に」（戦時法研究会）		
2018年11月	第77回宗教学会シンポジウム「宗教冒瀆表現とその規制」（パネルディスカッション司会）		
	【所属学会および社会的活動等】 宗教学会会員（理事）/日本公法学会 /全国憲法研究会会員 /憲法理論研究会会員 /東京弁護士会憲法問題対策センター委員		

(参考：外部リンク) プロフィールURL

<https://www.soka.ac.jp/faculty-profiles/tsukasa-katayama>